

2008 年度

科目名 美術史学実習 I	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 吉原 忠雄
授業テーマ 美術史学専攻希望学生が、美術作品の鑑賞方法と調査方法を習得する。		
授業の概要と目標 授業を通じて、また美術品の直接鑑賞を通じて、美術作品に関する情報の収集やフィールド・ノートの作成を行い、より深く美術作品を理解して、研究の見通しをたてられるようにする。 授業のほか、博物館などでの学外実習を年数回ほど実施するが、これに参加しないと、履修とみとめられない。 なお、和泉市内寺院の美術工芸品調査は美術の卒論作成予定者を優先する。他の者は展覧会の観覧を各自で行う（自費）。		
評価方法 出席と提出物により評価する。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1) 学内 ① 見学会の予習 ② 調査の基礎練習 準備 資料の扱い方 記録のとり方 法量の測り方 (2) 学外（交通費・昼食代などは実費が必要） ① 調査 土曜日 5人×3日（1日のみ参加） 和泉市内寺院 ② 見学会— i 京都国立博物館・三十三間堂（1日分） ii 奈良国立博物館・東大寺（1日分）		